

## ゲスト：玉内集子（ダンス）

**日時：2014年3月24日(月) Start 19:30 2,000円**

**会場：キッド・アイラック・アート・ホール**

156-0043 東京都世田谷区松原 2-43-11 (京王線井の頭線、明大前駅 下車 徒歩 2分)  
TEL.03-3322-5564 FAX.03-3322-5676 <http://www.kidailack.co.jp>



### 玉内集子 / TAMAUCHI Shuko (ダンス)

幼少より深谷正子に師事。P'Lush として 96 年より作品を発表。その後ソロ活動を始める。「adjustment」、「嘘がついてまわる」、「この部屋にゴミ箱がない」など。「裂けてゆく 月 #2 ~ 4」(ダンスの犬 ALL IS FULL)、千野秀一 × 玉内集子 (美学校ギグメンタ)、笠井叡振付「冬の旅」、ダンスがみたい! 「新人シリーズ 5」にて新人賞受賞。踊りに行くぜ! vol7、8、踊りに行くぜ! in アジア 2009 参加、ダンスの犬 ALL IS FULL の作品の多数参加。

自分の皮膚を境界に内外の意識のズレにずっと戸惑っていた。

多分この感覚は子供の頃からの人見知りと同じでずーっと私が抱えていたことに通じるのだと思う。

最近踊るにつれ皮膚の境界が緩み空気が入り出して私のカラダの隙間に入ってきた。次の扉が見当たりそうだ。

まだ開けられないけど、ココロはウキウキしている。

2014 年 8 月 21 日 ダンスが見たい! にてソロ作品発表予定。



### ヒグマ春夫 / HIGUMA Haruo (映像作家・美術家・パフォーマンスアーティスト)

2004 年 個展・水の記憶・ヒグマ春夫の映像試論・川崎市岡本太郎美術館

2008 年「DOMANI・明日」展(国立新美術館・東京)

2006.'09 年 大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ (新潟)

2012 年 波浮港国際現代美術展 (伊豆大島)

2013 年 ACKid 2013

波浮港国際現代美術展 (伊豆大島)

連鎖する日常／あるいは非日常の 17 日間・展 A・Cornis Gallery

連鎖する日常／あるいは非日常の 21 日間・展 キッド 5 階ギャラリー

第 12 回 まつしる現代美術フェスティバル (長野)

2014 年 連鎖する日常／あるいは非日常の 6 日間・展 K's Gallery

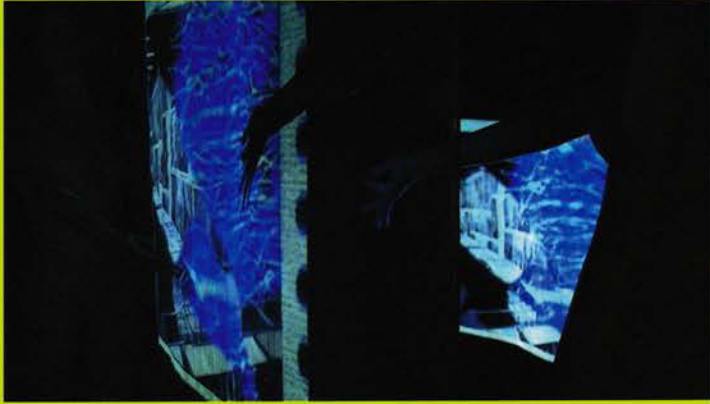
「映像パラダイムシフト」は、映像とはいったい何だろう、映像が関わるとどんなことが可能になるのだろうか、といったようなことを追究しています。今回は、ダンサーの玉内集子さんを招きました。

照明：早川誠司

協力：キッド・アイラック・アート・ホール

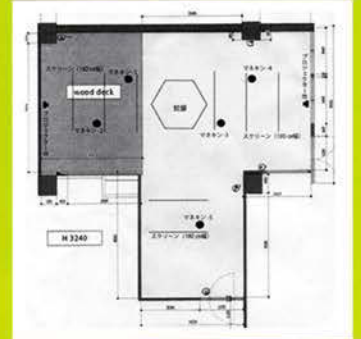
<http://www13.plala.or.jp/higuma>

# ヒグマ春夫の「映像インスタレーション」・パラダイムシフトする瞬間



「MEKURIMEKU」(49分) 2013年制：ヒグマ春夫  
 インスタレーション会場：A・Corns Gallery

映像の特徴：絵本をめくるように、次から次へと画像が現れる。

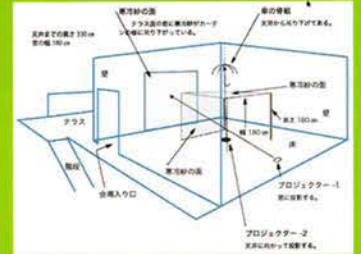


空間構成：透過性の紗幕、蚊帳、ビデオプロジェクター、マネキン。



「白い海」(45分 29秒) 2013年制作：ヒグマ春夫  
 インスタレーション会場：キッド・アイラック・アートホール 5階ギャラリー

映像の特徴：車窓から眺める風景に変形した魚みtainな画像が現れては消え消えては洗われる。スピード感ある映像。



空間構成：透過性の紗幕、傘の骨、ビデオプロジェクター、四角形。



「沈黙があって・・・時間があって・・・」(40分) 2014年制作：ヒグマ春夫  
 インスタレーション会場：K's Gallery

映像の特徴：三重になった画像が一つのユニットとなって、一つの画面を25個で構成している。40分間のなかで微妙に変化して映し出される画像は、それぞれには違った時間が流れていて、場所は世界にまでひろがっている。情報量が多い。



空間構成：球体、ビデオプロジェクター。